

ウェルビーイングとは何か

新しい「ものさし」・コンセプト

- ▶ 経済だけではなく
こころの充足、生活への評価・感情・価値、健康まで

幸せとウェルビーイングの違い

Happiness = 短期的・個人的な感情状態

Well-being = 個人 + 個人をとりまく「場」が持続的によい状態であること

包括的コンセプト

自分の生きる道だけではなく、家族や友人、自分の住む地域・学校が、どのようにすれば「良い状態」でいられるのかについて考えること

ウェルビーイングの深化

今が楽しい

（個人・現在）

これからの将来に希望を持てる

（個人・将来展望）

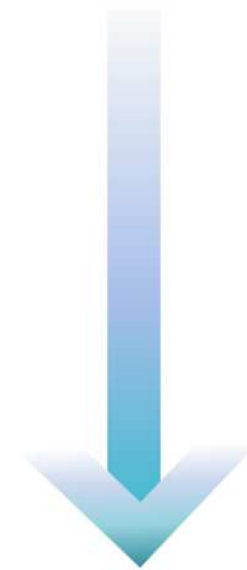
クラスや地域の人々の幸せを願う

（社会・共生）

この町・学校・世界を良くしていきたい

（利他性・公共・持続）

ウェルビーイングの深化



二つのタイプの幸福

獲得系

- 自分で道を開拓
- 自己実現

これまで私は
望んだものは手に
入れてきた

協調系

- 他者との調和
- 自然や地域との共生

大切な人を幸せに
していると思う

全国学力・学習状況調査質問紙によるウェルビーイングに関する調査結果

※ %は肯定的な回答の割合

獲得的要素	【自分には、よいところがあると思いますか】	
	小：83.5%（全国：84.1%）	中：83.5%（全国：83.3%）
	【先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか】	
	小：90.3%（全国：89.9%）	中：90.5%（全国：90.4%）
	【将来の夢や目標を持っていますか】	
	小：84.1%（全国：82.4%）	中：65.4%（全国：66.3%）
	【学校に行くのは楽しいと思いますか】	
協調的要素	小：86.3%（全国：84.8%）	中：86.1%（全国：83.8%）
	【普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか】	
	小：92.3%（全国：91.7%）	中：92.0%（全国：89.8%）
	【人の役に立つ人間になりたいと思いますか】	
協調的要素	小：96.2%（全国：95.9%）	中：95.8%（全国：95.2%）
	【地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか】	
	小：84.5%（全国：83.5%）	中：75.8%（全国：76.1%）

（参考）令和6年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査

（考察）

- ◆個人が獲得・達成する能力や状態に基づく**獲得的要素**、人とのつながりや利他性、社会貢献意識などの**協調的要素**に基づくウェルビーイングとも、およそ8割以上の児童生徒が肯定的な回答をしている。また、京都市は全国と比べ、数値が高い傾向にある。
- ◆獲得的要素については、**中学生段階に至ると「将来の夢や目標を持つ」子どもの割合が低くなること**、協調的要素について、「人の役に立つ人間になりたい」と思う子どもの割合に比べ、「**地域や社会をよくするために何かしてみたい**」と思う子どもの割合は低く、**子どもの思いが公共性にまで至っていない**とも考察できる。教育活動を通じて、これらの指標を上げていくことが求められる。